

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ◎思考・判断・表現 ●学びに向かう力、人間性等 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
	「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(11)			
一学期	<ul style="list-style-type: none"> 大豆っていろいろな食材に変身するんだね。 教科書に載っているもののほかに、どんな食材に変身するんだろう。 給食でも大豆を使ったメニューがあるのかな。インタビューしてみたいな。 自分たちも作ることができるのかな。 大豆を使った料理を作ってみよう。 そもそもどうやって大豆を育てたらいいのかな。 育て方を調べてみよう。 種がホウセンカやヒマワリと違うな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの他学年の取り組みや、探究プロセスやカリキュラムマネジメントを通して教科横断的な学習を知ることで、総合の全体像を理解する。(1) ○将来の夢や子どもたち自身が今後どのような人になりたいのか考え、そのために必要な力を身に付けていく学習にしていける方向性を決める。(1) ○総合の学年テーマ「食文化」を基に学級のテーマを決める。(1) ○大豆を観察し、どのように育つか予想する。(1) ○大豆の育て方を調べる。(3) ○調べた情報を基に実際に大豆を育ててみる(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合との出会いを大事に、自分たちで探究できる楽しい時間であることを味わえるように子どもの思いを大切にすること。 ・総合の魅力を伝えることで「自分もやりたい！」という意欲が高まるようにする。 ・大豆に関する本がすぐに手に取れるようにする。 ・調べたことをロイロノートでまとめ、互いに見合えるようにする。 ・振り返りをロイロノートに一括してまとめることで、これまでのあゆみをすぐに確認できるようにする。 ・失敗してもまた挑戦できること、課題を見つけることでよりよくなることを声掛けする。 	<ul style="list-style-type: none"> [1:課題を見出し、把握している] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> ○大豆には様々な種類や歴史があり、日本の誇れる食文化の一つであることを理解している。 <②自己理解・自己管理能力> ◎調べたことを生かして大豆をよりよく育てるために、自分なりに考えながら行動している。
	「おいしいを追究して繰り返し作る。課題を見つけ、探究する。」(26)			
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく作るなら、おいしく作れるようになりたいな。 ・作る前に、味を確かめたいな。 ・教科書の説明だけだと作るの不安だな。 ・作ってみたけど、普段食べているのとは少し違うな。何が違うのかな。 ・他の班とも味が違う。何が違うのかな。 ・お店のものと食べ比べてみたいな。 ・自分たちが作ったものとは違う。何か工夫があるのかな。 ・お店の人に作るコツを教えてくださいに行きたいな。 ・繰り返し作っていると、だんだん慣れてきたぞ。 ・お世話するのは大変だけど成長しているからうれしい。 ・大きく育て、花が咲いた。ホウセンカと違うところがある。 ・実ができてきた。自分たちで育てた大豆で料理をして食べてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大豆料理を作るにあたり、作り方や材料、必要な器具を調べる。(2) ○大豆料理に仕組み、さらにおいしく作るにはどうしたらよいかを考え、探究する。(12) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもち、大豆料理の内容を再考する。(4) ○さらにおいしく食べるにはどうしたらよいかを考え、探究する。(4) ○みんなで仕組みを考えながら、水やりや草取りなど世話をし、虫食いなど課題の解決について調べたり話し合ったりする。(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすいようにする。また、次の工夫に生かせるようにする。 ・意見が反映されやすいように小グループでの活動を促す。 ・安全管理を徹底して行う。児童もその意識を強くもつよう促す。 ・世話をした子、見てきた子の話を共有し、気にかけて続けられるようにする。 ・課題に気付けるよう声かけする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大豆料理や大豆の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力> ●自己の取組を振り返ることを通して、よりおいしい大豆料理を作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。 ◎大豆料理や大豆の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力>
	「大豆の魅力を伝える。1年間の成果を味わう。」(15)			
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで育てた大豆で料理を作りたいな。 ・作った料理をおうちの人に食べてもらいたい。 ・関わってくれた方にもお返しができないかな。 ・作り方をスライドでまとめて発表したいな。 ・大豆料理を作ってみて楽しかったな。料理に生かせないかな。他の食べ物でできないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おいしく作るための工夫を生かし、大豆料理に取り組む。(2) ○関わってくれた方へのお返しの仕方を考え、計画し実行する。(9) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返って工夫を確かめてから取り組むよう促す。 ・1年間の活動を振り返り、どんな方からお世話になったか振り返られるように記録をとっておく。 ・総合を通して学んだことを4年生につなげるためにキャリアパスポートを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●大豆の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎大豆料理の作り方や大豆の魅力を、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] <④キャリアプランニング能力> <②自己理解・自己管理能力>

材(大豆)のもつ価値

- ・大豆栽培や大豆料理を繰り返し作り、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・大豆を使った料理は身近な食べ物なので、手作りのものと市販のものを食べ比べることができる。
- ・自分の作った料理がよりよくなっていくこと、おいしいと言われることで達成感を得ることができる。

材(大豆)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ★大豆を育てたい、大豆料理を作り続けたいと願っている。
- ☆よりおいしい大豆料理を作りたいと願っている。
- ☆自分が育てた大豆や、繰り返し作ってきた大豆料理を、他の人にも知ってもらったり、食べてもらったりしてもらいたいと考えている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い